



商 工 会 報

あ ち

第 67 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会

印刷 龍共印刷(株)

URL: <http://www.achimura.com/> メール: info@achimura.com



宝投げに大歓声

寒い中でも大盛況 笑顔と涙あいの商工祭

第七回商工祭実行委員長 井原忠亮

本年も十一月十二日(日)に第七回商工祭を盛大に開催することができました。心配された天候も会員の熱気に押され、一日持つてくれました。

実行委員会が早くから研究し、「地域の皆様に愛される商工会」、「日ごろのご愛顧に感謝し、還元すること」をテーマに新しい企画に取組み、企業出展へのご協力や賞品の提供等をお願いし、ご来場くださった皆様には満足いただけたと思います。

ポイント店会の「ふくまるくん」の福引も定着し、多くの皆様が早くより並び、特に村澤牛の村内初めての販売、産地直送サンマの販売等大変好評でした。

また、浪合念流太鼓をはじめ青年部のバンド演奏のリズムカルなタップに多くの若者が集まり、実りある交流ができて着した感がありました。

長年の計画であったミニSL機関車を走らせることがで



すべて手づくりのミニSL

きました。会場が離れた保育所のため残念でしたが、何回も乗っていた子供さんがおりそれなりの成果が上がったと思います。多くのお客様のおかげで商品が品切れとなり、追加しながら終了時間後までも対応していただいたお店もあるほど大変盛況でありました。最後に、商工祭にご協力いただいた村内外の各企業、西部地区商工会、ポイントカード加盟店会、信金駒場支店、駐車場をお借りした皆様、村当局、会場設置関係、公民館の皆様各位に心からお礼を申し上げます。

阿智公園が様変わり のろし台ライトアップ開始

駒場区自治会長 齊藤 市男

阿智村駒場区自治会では、昼神温泉のお客様を通じ、駒場地域の活性化をと、十六・十七年に引き続き、支会商工会と連携して、阿智公園整備を村へ要望してきました。



看板も黄色地に化粧直し

この夏頃から本格的な工事が着工となり、十一月にやっと完了となりました。秋葉神社の建替え、東屋、展望台、道路、遊歩道、駐車場、植栽と、様々な整備事業でした。

十二月に入り、「のろし台」の看板も化粧直しをし、ライトアップのリハーサルも行われました。これまでそれぞれの立場で、労働、予算等に尽力いただいた方々に、感謝す

るばかりです。

自然保護のシンボルとしてまだまだ整備をする所もあります。まずは「水」に対する取組が必要とされており、この件も、今期の内に解決する様話は進んでおります。

城山から目にする風景はすばらしいものです。一人でも多くの方に登っていただき、一人でも多くの方に感動を味わっていただきたいと思います。この公園整備に、欲得を考えずに頑張った方々の気持ちを思いながら、公園内の様変わりに注目してほしいと思います。皆様、是非阿智公園に登って見て下さい。



整備された駐車場

企業探訪 No.59

池田屋商店

住 所 阿智村浪合
代 表 者 塩澤洵式
業 務 内 容 衣料品小売



「暮らしの衣料 イケダヤ」の看板を見上げながら、衣料品店を営む塩澤洵式さんを訪ねました。

大正10年、洵式さんの母・はつみさんのおじさんにあたる方が、衣料品を売りながら乗馬ズボンなどを自ら縫って販売する「池田屋」を創業。そこへ「伴物職人（縫い屋さん）」として雇われたのが洵式さんの父・浅治さんでした。はつみさんとの結婚を期に池田屋を買収した浅治さんは、夜通し大きな「裁ち板」を前に仕事をしていました。作中睡魔におそわれたのか、アイロンそのままの形の穴が開いている裁ち板を、今でもとってあるんだと洵式さんが笑っておっしゃいました。

高校卒業後、岡谷の繊維小売業者で充実した修行を積んだ洵式さんは、昭和39年に浪合に戻り「有限会社池田屋商店」を立ちあげ、それまでの「縫い屋」はやめ、繊維関係を扱うようになりました。イケダヤになくはない人となるパートナーも得て、好景気の波にのり、売上も順調に伸ばしてきました。しかし、バブル崩壊後の不況に続き平成10年には浅治さんがこの世を去り、平成14年には最愛の奥様にも先立たれるという悲しみを経験され、現在はほとんどひとりで店を切り盛りしています。今でも年に5回は飯田での展示会を行い、平谷村へは年に4回出張販売に出向いています。

はつみさんとご長男夫婦、そして5人のお孫さんと暮らすにぎやかな毎日ですが、「店主と共にお客さんが年をとるのよ」と話すお顔は、とても穏やかでした。

指導カルテ No.24 超活性化 レストラン経営の キーワードとは

経営指導員
片桐 義夫

十一月二十八日〜二十九日に開催された全国ふるさと見本市二〇〇六年に参加し、安田久氏の講演からご紹介いたします。

東京銀座で繁盛店づくりのための大きな五つのポイント

を上げられました。

- ①その地方の食材に徹底的にこだわる
- ②その地方の伝統工芸品を徹底的に活用する
- ③その地方の伝統文化財を活用する
- ④その地方の全蔵のお酒を品揃えする
- ⑤その地方の言葉でおもてなしをするでありました。

企業経営理念は、「食による地方活性化を通して日本の経済と社会の発展に貢献する。」
具体的には「四十七都道府県、四十七ブランド、四十七地方

活性化店舗を目指して世界へ行くことを考える」でありました。

地方の豊かな個性が日本の中心地銀座で繁盛店となっているのであって、繁盛店づくりの大切なポイントとなっております。阿智村を中心に来年度本格展開するスローライフ推進事業はこの地域にぴったりの事業として計画しておりますので、会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願いたします。

総務部

スポーツで親睦
第一回ゴルフコンペへ開催

総務部副部長 浜 島 弘 尚

十一月七日(火)に会員親睦ゴルフコンペが、あららぎカントリークラブで開催されました。本年浪合との合併一年目ということで、会員の皆様の中から是非取り組んで欲しいという声があり、商工会としては初めての開催となりました。

準備期間が少なかった割には、二十一名と多くの人に参加していただきました。当日は朝から大雨が降りしきる上に強風にも見舞われ、全員が集合した時には、中止もやむを得ないなどの感も有りました。しかし、ゴルフ場の協力もあり、スタートを三十分遅らせた結果、



第1回ゴルフコンペ優勝の虎岩さん



みごと雨も止み、青空の下でのスタートになりました。途中あられもパラつく寒い一日でしたが、鶴巻荘での表彰パーティーでは温かく、有意義な親睦ができました。優勝された虎岩良知さん、おめでとございました。

参加された皆さんからは、「これが一回で終わっては残念、二回三回と続けて欲しい。」との声があがっていました。

十月八日(日)には、毎年恒例の会員親睦マレットゴルフ大会が、わい w a i 運動場コー

業 業
工 建 設

富山黒部の活気に
刺激を受けて

部会長 藤 倉 陽 太 郎

今回私達は富山県黒部市の観光・歴史・商工業を学ぶべく、十月二十二日・二十三日に視察研修を行いました。

〈立山黒部アルペンルート〉

暑いぐらいの陽気の中、紅葉真っ盛りの黒部ダム周りでは、その景観に感動しました。最高峰の室堂には既に積雪がありました。景観もさることながら、やはりこの黒部

スで開催されました。

日頃培った技術を駆使し、難コース攻略と意気込んで挑んではいましたが、あちらこちらから「ワー」「アー」「キヤー」と驚嘆の声があがり、会場は大にぎわいでした。

そんな中、アンダーパーのスコアを出された方も多く、優勝の栄誉に輝いたのは芦沢ミエ子さんでした。

表彰式を兼ねたドームでの焼肉親睦会では、賞品にふくまるくん商品券や地元産の松茸が登場したり、北海道から直送の新鮮さんまが全員に配られたりと、大満足の楽しい初秋の半日でした。

るかを学んでこようと、

事前に事務局レベルで折衝してもらい会場へ



行きました。くろべ商工フェアは既に五十一回目の開催ということ、我々の想像をはるかに超える規模と、それ以上に参加出展している企業の意欲・熱意にとっても驚きました。

YKK(株)や北陸電力といった大企業から街の美容院まで参加していました。また病院の健康診断コーナーに大勢の人が集まり、畳組合や板金組合では工作コーナーを設け子供たちが熱中していました。

本日に一般の市民の方と企業がふれあう機会であり、その当日に商談等を期待しているのではなく、後にこの商工フェアでの接触が商売に繋がっているのだという話でした。また別室にて黒部商工会

議所の中西会頭はじめ、実行委員長、専務理事との懇談会がおこなわれました。驚いたのは、こんな活気ある商工フェアですが五年前までは全く沈静化しており、そこでもっと根本的に考え直し取り組むことで非常に成果のあるもの

なってきたとの経緯があることでした。次年度以降、今回の体験を活かしてゆきたいと感じました。

〈YKK(株)見学〉

YKK(株)は、ファスナー事業とアルミ建材事業で既に世界的な品質とシェアを誇っており、その工場面積は黒部本社だけで東京ドーム四十二個分を有します。その品質・技術を他社に追随されることのないように、両事業部門とも自社内で機械を開発し、それを製造部門のみに販売する形態をとっているとのことでした。そんな企業技術を頑なに守ってきた経緯がありますが、富山県知事からの強い要望により、今年七月から観光と企業視察を組み合わせたバス見学ツアーを開始。私達も今回参加することとなりました。

当日の愛想のよかつた富山美人の案内はとも印象に残っています。



最後に大変充実した視察研修を共に楽しめた部会役員の皆様に感謝申し上げます。

青年部

交流と人脈が打開に繋がる
県ビジネス交流会に参加

青年部長 大前 智 宏

県青連として初めての試みでもありません、長野県商工会青年部ビジネス交流会が、去る十一月二十日と二十一日に、諏訪の「RAKO華乃井ホテル」で行われました。

県内各地区より一三八名の参加者があり主に建築・土木、そして旅館業・飲食業、自動車関係など職種は様々でした。阿智村からは、私と田中常任委員（春日自動車）と岡本部長（稲石）の三名が参加してきました。



まず一日目は、同じ職種同士で六〜七名くらいのグループになり、それぞれの地域の

特徴を話す中、自社の強み弱みなどを活発に議論しました。その中に中小企業診断士の先生が加わってアドバイスをいただきましたながら、「経営」についていろいろな方向から考えることができ、話も盛り上がりました。また、畑違いの職種の方からも意見・要望をいただくなど、アットホームな雰囲気です。打ち解けることができました。

二日目は、中小企業診断士の先生方からグループリーダーの指名があり、グループ内でビジネスプランを策定し、まとめたことを代表者が十分以内で発表する場が設けられました。私自身もグループリーダーとして発表する機会が与えられました。

今回のビジネス交流会は、私自身も実行委員の一人として企画会議の段階から参加してきた経緯もあり、自分にとって深く思うことがありました。色々な努力をし、皆様のアドバイスを聞き入れることが大切だなあと、改めて感じた勉強会でした。

女性部

女性部事業へ参加を

女性部副部長 荻原 真 弓



今年度たいへんなお役をいただき、女性部のいろいろな行事に参加させていただいております。皆さん活発に活動している中に入れていただきいろいろ教わる事はかりで、積極的な活動の姿に頭が下がります。行事の一つである研修旅行に去る九月十三日、東京方面へ行ってきました。大勢の参加

者と共に大型バスで、小雨がぱらつく中ではありましたが、楽しく行ってこれました。

帝国ホテルでは紀宮清子さんと黒田さんの結婚披露をした鳳凰の間を見学させていただきました。夜のパーティーの準備中だったので、雰囲気があじわえなかったのが残念でした。もう少し中を案内してもらい帝国ホテルに来たんだという印象に残るものがほしかったと私は感じました。ホテルのバイキングで昼食をとり、お台場の昭和の懐かしい商店街のテーマパークに行き、子供の頃にもどりなつかしく楽しいひとときを過ごしてきました。まだどこかで昔のお菓子やおもちゃを作っている人達がいるんですね。昔からの物を大切に守っていく事ですごくいい事なんだなと感動です。



帝国ホテルに乾杯！

いつまでもあつてほしいテーマパークだと思いつつ、飛行機がたえまなく離着陸する羽田空港ターミナルへ到着。中を自由に見学し、それぞれたくさんのおみやげを手に帰路につきました。

普通の日に行事が行われるため、なかなか参加できないとは思いますが、皆さんに何か一つでも参加していただき、女性部の活動を盛り上げていただけたらなと思っております。



おいしいお鍋を作りましょう

十二月五日には、青年部員を講師にお願いして、料理講習会を開催しました。また、十一月七日には、今年九商工会が合併した長野市商工会女性部の皆さん六十三名が来村され、昼神温泉において交流会を行いました。

シリーズ

我が家の秘蔵写真

民宿 熊谷
熊谷忠子さん所蔵

第42回

「民宿熊谷」を営む大正生まれの熊谷忠子さんにお話うかがいました。

昭和二十二年に地元から熊谷家に嫁いだ忠子さんですが、
「熊谷忠子」で、お姑さんにはずいぶんしごかれたそうです。

その頃、治部坂高原のつつじ園では、それは美しく見事なつつじが咲き誇り、牛や馬も放牧されていました。

つつじの時期には、忠子さんたちが食材をしょって治部坂まで歩いて行き、小さな小屋の中で、飛ぶように売れる



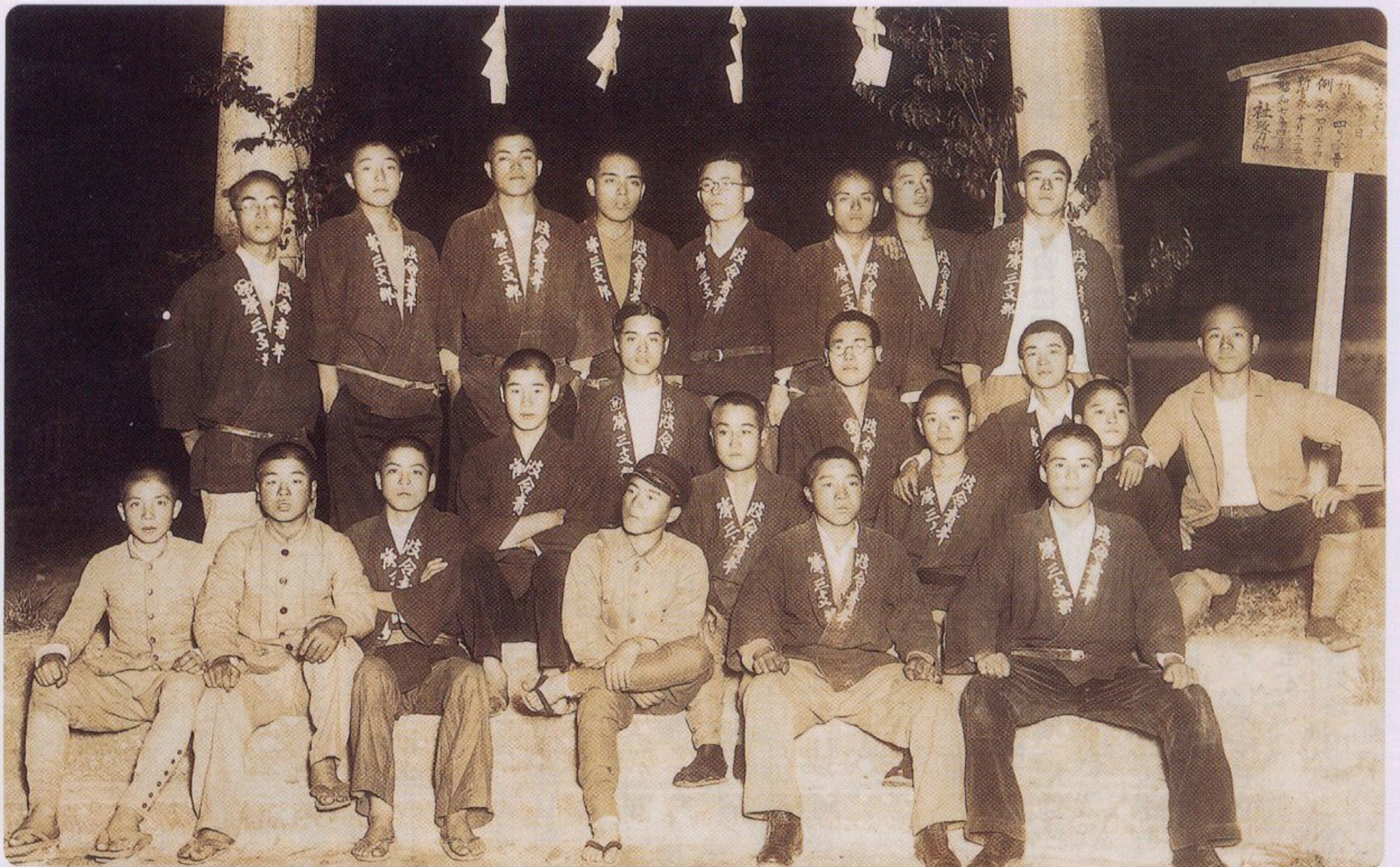
ごへいもちとおでんの販売もしていました。治部坂に止まるはずのない名鉄のバスが必ず停車し、大勢のお客さんが降りてきたそうです。

一方「民宿熊谷」さんが店を構える宮本部落は、かつては立派な商店街で、「この辺は店だらけだった」と、子供の頃から見ている「浪合の「まち」」の様子を話してくださいました。「ポケットにくすねた塩をつつこんで、採ったふきをもんで塩をつけて食べながらまちを歩いた」と、しばし昭和初期の時代へといざなってくれました。



上下とも昭和25年前後の同じ日に撮影されたと思われます。

- 上：開発前の治部坂高原つつじ園で
- 下：おでんのごへいもちを売った小屋の中でひと息
- 右：こちらも昭和25年前後の浪合宮本地区
- 文中：昭和7~8年ころ
- かすりの着物を着て帳面を持つ忠子さん(右)と近所の子供たち



写真の裏面には『一九三六年十月二十五日 浪合村秋村社祭りの時浪合青年会第三支部会員一同』とのメモがありました。法被の文字が「波合青年」になっています。「昭和七年四月 社務所」とある立札には、例祭・新嘗祭等の期日が記されています。

支会だより

今年も売りました

伍和副支会長 玉置清司

皆さんこんにちは、伍和支会では支会の事業の一環として村民運動会に参加して、露店商の許可を代表者で申請して頂き、いか焼、焼鳥、おでん、わたあめ、アルコール、ジュース等の販売をして、運動会を盛り上げています。また、このような事業を行う事で伍和支会の和が一段と深まります。今年は曇り空で今にも雨が降り出しそうな天気

の中なんとか完売する事ができました。御苦労さまでした。また、伍和支会では阿智商工祭にも、奮闘し眉毛まで白くしてわたあめを作り販売して子供さん達に喜ばれ商工祭を盛り上げています。これからも、皆で色々のアイデアを出し合い、伍和支会を盛り上げて行けば自然と商工会も熱がはいると思います。今後もよろしく願います。



お世話になりました

経営指導員 松沢隆一

この度、十一月一日付で、阿南町商工会へ異動となりました。十一月の異動は、商工会では異例のことではありませんが、阿南町商工会の経営指導員が欠員となっておりまして、急なお話ではありましたが、お引き受けした次第です。何分にも急な事でありましたので、阿智の会員の皆様方には、ごあいさつが出来なかつた事を、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

思い起こせば、昭和五十八年四月に阿智村商工会の記帳選任職員としてお世話になりました。平成十三年四月に清内路村商工会に異動するまでの間、阿智村商工会の皆様方に育てていただき、本当に感謝しております。

平成十六年度より、阿智村商工会と清内路村商工会が県下に先駆けて広域連携を実施し、再び阿智の皆様と関わりができましたことに、改めて

信金だより



飯田信用金庫 駒場支店 仲岩 稔

皆様こんにちは。信金駒場支店の仲岩稔と申します。今年の六月より赴任し、営業係として智里東・浪合地区を担当しております。

簡単に自己紹介をさせていただきますと、自宅は喬木村で、両親、兄、祖母との五人暮らしをしております。現在三十歳です。様々な場面で皆様とお会いする機会があると思いますが、今後ともよろし

強い絆を感じたことを思い出します。

異動後間もないため、新境地の阿南町では業務の一つ一つを憶えている状態ではありますが、阿智村の皆様方に指導いただいた事を活かし、誠意をもって会員の皆様のお手伝いをさせていただきますと考えております。

最後に阿智村商工会の発展と会員企業のご繁栄をお祈りし、異動のごあいさつとさせていただきます。

くお願い致します。

只今信金では、特別金利定期預金の販売をしております。一年もの〇・六%、二年もの〇・七%、三年もの、〇・九%の特別金利となっております。また、投資信託とのセットプラン「デュエット」も好評いただいております。是非この機会にお預け入れをよろしくお願い致します。

ローンも各種取り揃えておりますので、御相談等ございましたら一声お掛けいただけましたらと思います。

まだ駒場支店にまいりましてから半年余りですが、少しでもお客様の力になれますよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。寒くなってきましたので、健康に御留意下さいませ。

お知らせ

商工会の新年祝賀会を、平成十九年一月十八日に開催します。昼神温泉観光センターにおいて「ふるさと一座」を観劇し、その後グランドホテル天心に会場を移して新年会を行います。会員、家族、従業員の皆様、多数の参加をお待ち申し上げます。

編集後記

今年の商工祭では昨年を上回る人で大変賑わい村の人達に少しずつ良さが伝わったのかなと感じます。

阿智公園整備作業では、駒場区自治会、商工会・同会地支会の皆さんが一緒になって木の刈り、信玄のろし台の看板の補強作業等の大掛かりな整備作業と奉仕活動を行った事により自治会の皆様方と交流ができたことは非常に良かったと思います。公園には毎日何人かの人が訪れる様ですが、より多くの人がこの公園に来てくれる事を願います。

会報が皆様方の所に届くころは信玄のろし台の看板にライトアップされた阿智公園がくつきりと見えている事と思えます。

大変急な事でしたが、松沢指導員が阿南町商工会に異動になりました。大変お世話になりました。更なるご活躍を期待申し上げます。会員の皆さん来年も宜しくお願い致します。

会報編集委員長 田中 登